

図書だより



駒羽根小学校
令和3年12月3日

◇光陰矢の如し◇

2021年のカレンダーも残すところ、あと1枚となりました。12月は「師走」と言います。「師走」の語源は諸説あるようですが、「お師匠さんも走るほど忙しい季節」という意味もあるそうです。最近、図書館に走ってくる児童がいます。廊下を走るのはとても危険です。ぶつかって怪我をすることもあるので、みなさんはゆっくり歩いて本を借りに来てくださいね。
時間とマナーを守って楽しく図書館を利用しよう♪



「50冊賞」、「300冊賞」続々達成中!



読書週間のビンゴカード大会では多くの児童がたくさんの本を読むことができました。50冊賞達成の児童もたくさん増えました。駒羽根小学校では全員が50冊賞達成を目標にしています。まだ、達成できていない児童は「読書カード」を持って、図書館に来てください。50冊賞達成の支援をします。

★本を楽しく読むコツ

- ①とっても簡単な本で良い。(少しでも活字に慣れることが大切です。)
- ②寝る前の10分で良い。(毎日読むことが大切です。)
- ③全部読まなくても良い。(面白いと思える部分を見つければ良いです。)

★お家の人へ

低学年の児童には是非、読み聞かせをしてあげてください。
(子どもは親から愛されていることの喜びを感じ、読書を楽しみにします。)

「がんばれ」より、「がんばってるね」と認めるほうがいい。



★読書好きになるには「読書を通したメリット」を感じることが重要です

子どもが読書をしたらたくさん褒めてあげてください。

★図書室からのお願い★

「本は学校の大切な財産」です。
年末の大掃除などで学校の本が見つかった場合は捨てたりせずに図書室に届けてください。



親が出来る子どもを「読書好き」にする方法



①読み聞かせ

今まで読み聞かせをしていなかったのなら、今日からでも読み聞かせをしてみてください。読み聞かせの良いところは、本の内容をイメージしやすいところです。本の世界に入りやすく、子どもが自分で読むきっかけにもなります。最初は親が自転車の後ろを押してあげる感覚で寄り添ってみてください。子どもが読み聞かせに飽きたら子ども自身で読めるようになったサインです。

②続きものにする

一冊を一気に読まない方法です。子どもが続きを知りたくなるところで翌日続きを読みます。続きを知りたがるのが読書好きにつながります。

③読み聞かせをしてもらう

子どもが親に読み聞かせをすることで、読み聞かせの楽しさや面白さに気づき、このことが読書好きになるきっかけになることもあります。

読み聞かせは小学校低学年の子どもはもちろん、中学年・高学年であっても効果があるということです。

時間があれば、親も子どもと同じ本を読んでその本について会話ができるといいですね。



★冬休みの本の貸出しについて★

12月	11月29日(月)	30日(火)	12月1日(水)	2日(木)	3日(金)
通常	→				返却期間
6日	7日	8日	9日	10日	
13日	14日	15日	16日	17日	
		貸出し期間	→		
20日	21日	22日	23日	24日	終業式

※返却期間は12月3日(金)から。貸出し期間は12月15日(水)です。
冬休みの本は1人3冊まで借りることができます。

